

清溪小学校区放課後子ども教室

活動 テーマ	たくさんの遊びを通して心を豊かにしよう。
-----------	----------------------

■基本データ

活動日	月～土	本体事業 開催回数	128 回	まなび舎kids事業 開催日数	- 日
児童数	17 人	登録人数	17 人		
コーディネーター数	1 人	ボランティア数	34 人		
実施場所	会議室・体育館・運動場				
活動内容	宿題・自由遊び（ボードゲーム・将棋・囲碁・ボール遊び・バドミントンなど）				

■活動の概要・経緯

「きよたにこどもクラブ」として、宿題を始め自主的な学びの場と、自由遊びを中心に、学年や性別に関係なく、月曜日から金曜日まで活動しています。活動には地域の方々をはじめ、保護者の方々が参加、協力してくださっています。夏休みには、学校のプール指導のあと、昼食の代わりに簡単な調理実習（簡単な内容のもの、お弁当持参での参加可能）をしたり、夏休みの宿題をしたり、遊びたい遊びで自由に遊びます。

■活動の特徴・工夫

○おもいっきり遊んでもらうことをいちばんに考え活動しています。高学年が低学年の勉強を教えている様子は、とてもほほえましい光景です。そして、宿題が終わると、ほとんどの子どもは、体育館や運動場へ駆け出して行きます。

OPTA活動と連携して、今年は、タイルプレートとアートボックス作りで、素敵な作品がたくさん出来ました。

○安全管理員は保護者だけでなく、卒業生のお母さんや在校生の祖父母や地域の方々にも協力していただき、将棋やこま回しなども教えていただいています。

■スタッフの声

少子化で、家に帰っても遊び相手がいない子どもでも、放課後子ども教室に参加すれば兄弟のように遊べる。上級生が下級生に宿題を教えてあげたり、遊びを教えてあげたりしている。上級生が下級生の面倒をみることによって、上級生も成長出来ている。一年生から六年生までが仲良く遊んでいる。こま回しなどの昔の遊びを教えてあげたい。囲碁、将棋など教えてあげたい。これからも、放課後子ども教室は続けていったほうがいい。

■活動の様子



タイルプレート製作中



運動場での遊びの様子